

第143期京都中央労働学校 募集要項

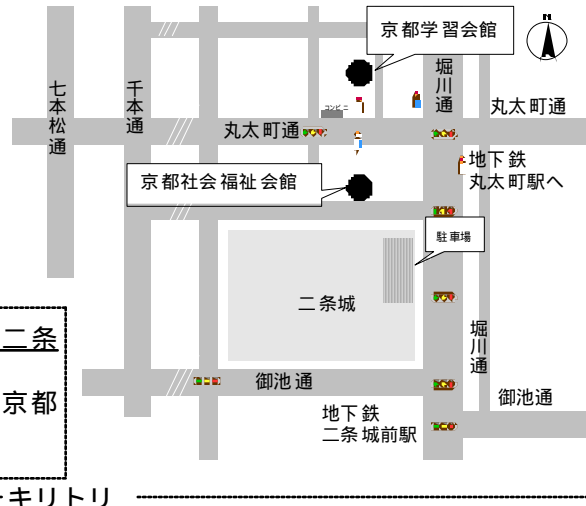
申し込みの手続きは「申込用紙」に必要事項を記入し申し込んでください。
 募集の定員は、各コース60名です。(定員になり次第×切ります)
 講義時間は、午後7時～9時10分(休憩も含まず)

総合コースは、20回講義のうち15回以上出席し受講料を納入された方に修了証書をお渡しします。
 それ以外のコースは、10回講義のうち7回出席で修了証書をお渡しします。

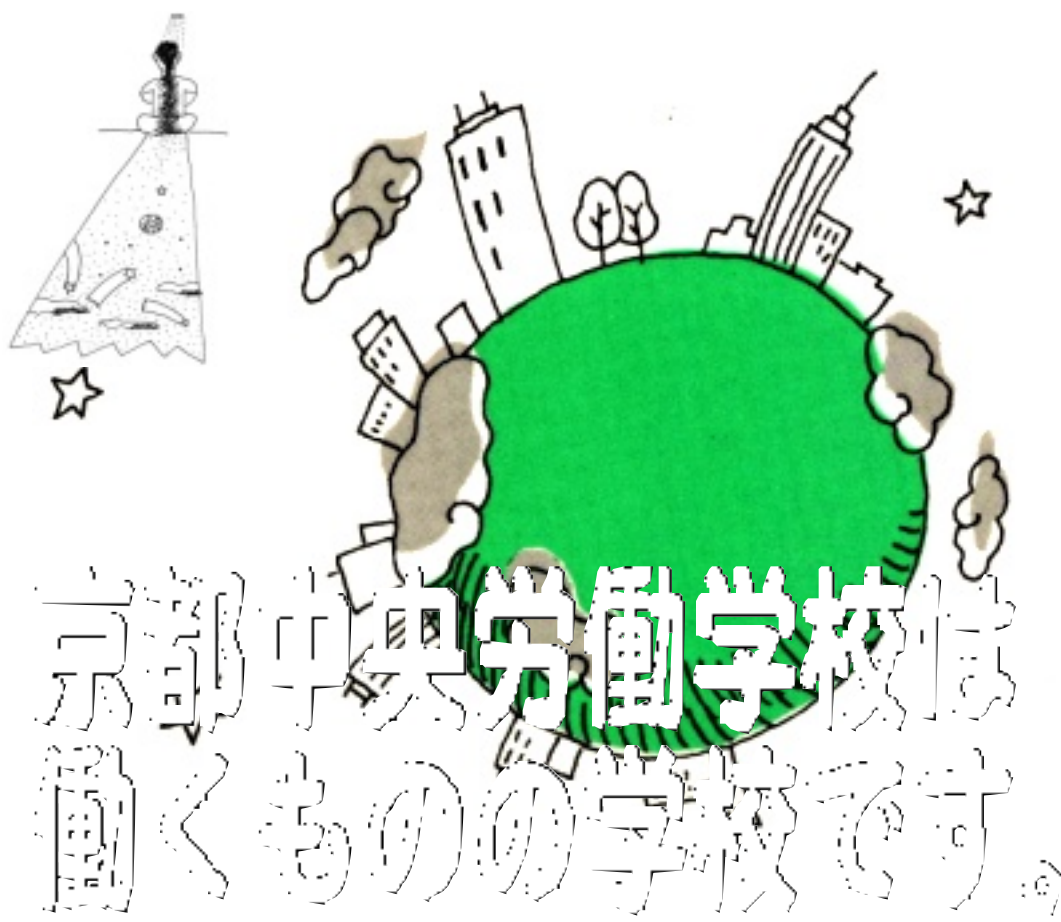
テキストは、総合コース、人生論コースはレジュメを準備しています。経済学コースは、マルクス著『資本論』第1～2分冊(新日本新書)を使います。注文の方は、申込用紙に記入を。

受講料は、総合コースは、10,000円、
 それ以外は、8,400円です。

金額に消費税が含まれています。
 各コースの会場は、『京都学習会館』
 (上京区堀川丸太町西一筋目上ル)です。
 電話(075)841-8141
 FAX(075)821-3665



二・四輪共に駐車場はありません。二条
 城市営駐車場へお願いします。
 地下鉄丸太町駅・二条城前駅から『京都
 学習会館』まで歩いて10分以内です。



科学的社会主義を学ぶ労働者の学校
 京都中央労働学校 143期生募集中
 申込先は
 京都労働者学習協議会
 電話 841-8141 FAX 821-3665



情熱と打算

第143期京都中央労働学校 申込用紙			
申込みコースチェック 総合 人生論 経済学			
ふりがな	性別	年齢	
氏名:	男・女	才	
現住所			
職場・学園			
労働組合 (全国単産)			
電話: 職場 () - 自宅 () -			

『資本論』... 第1分冊 第2分冊 注文する。

総合コースは、京都中央労働学校のメインコースです。
 全20回で科学的社会主義の基礎をきちんと学びます。
 現実の世界と日本で生起する問題を視野にいれて学びます。
 私たちが生活している日本社会（資本主義社会）は、変わることはない「最後の社会」
 ではありません。資本主義社会のしくみを学び、それを乗り越え発展した社会がどの
 ように実現されてゆくのかを学びます。すでにその方向に進んでいます。
 人間らしく生きるための6つの*知のESSENCE,, を学びます。
 21世紀を自信をもって生きてゆくために総合コースで学びましょう。

講師は、芦田文夫（立命館大学名誉教授）/角田修一（立命館大学教授）/林昭（龍谷大学
 名誉教授）/牧野広義（阪南大学教授）/永戸辰夫（京都学習協講師）/細川孝（龍谷大学教授）

働くものの未来を学ぶ

総合コース

10/20(土) 開校オリエンテーション

10/23(火) 第01課 マルクスは何を発見し変革したか

10/26(金) 第02課 “商品,, の価格はどのように決まるか 資本主義の基礎

10/30(火) 第03課 賃金は労働の価格か

11/02(金) 第04課 “労働者と資本家,, の出発点 世界の場合、日本の場合

11/06(火) 第05課 利潤の源泉と実現 搾取のしくみ

11/09(金) 第06課 日本社会は “階級社会,, その経済的基礎

11/13(火) 第07課 *知のESSENCE 人間らしさと働くこと

11/16(金) 第08課 賃金引き上げの挑戦とは

11/20(火) 第09課 *知のESSENCE 知性とは、自由とは

11/23(金) 第10課 労働組合とは

11/27(火) 第11課 *知のESSENCE 「競争」は成長・発展の源泉か

11/30(金) 第12課 日本社会の構造 二つの “異常,,

12/04(火) 第13課 *知のESSENCE 現代の “神話,, と宗教を考える

12/07(金) 第14課 現代の独占資本 日本の多国籍企業

12/11(火) 第15課 *知のESSENCE 現実をとらえる方法...弁証法

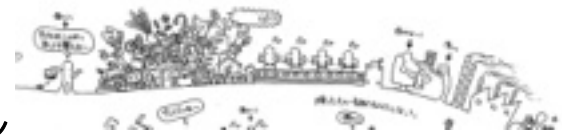
12/14(金) 第16課 特別講義 ジェンダーを考える 「女性の世界史的復権」の時代

12/18(火) 第17課 *知のESSENCE マルクスの “歴史観,, とは

12/21(金) 第18課 グロバリゼーションと “矛盾,, の深化

12/25(火) 第19課 世界と日本でひろがる社会変革の流れ

12/28(金) 第20課 人類の未来社会 “社会主義・共産主義,, とは



21世紀の人生論コース

21世紀に生きる青年・労働者の “人生の羅針盤,, を学びます

- 10/20(土) 開校オリエンテーション
- 10/25(木) 第01課 21世紀に生きるとは
- 11/01(木) 第02課 愛はすべてか
- 11/08(木) 第03課 幸福について
- 11/15(木) 第04課 競争と成長について
- 11/22(木) 第05課 労働ということ
- 11/29(木) 第06課 孤独と連帯
- 12/06(木) 第07課 歴史について
- 12/13(木) 第08課 戦争と暴力
- 12/20(木) 第09課 自由とは
- 12/27(木) 第10課 階級闘争の意義



講師は、関西大学名誉教授・鯉坂真先生

経済学コース

マルクス著『資本論』第1巻を3回で学びます。
 今回は、資本主義経済の基礎を学びます。

第1部 資本の世界はどんな世界か？

- 10/20(土) 開校オリエンテーション
- 10/22(月) 第01課 なぜ、いま『資本論』を読むのか？
- 10/29(月) 第02課 なにが商品交換を成り立たせるか？
- 11/05(月) 第03課 商品の価値はどうやって表わされるか？
- 11/12(月) 第04課 商品の世界はどんな世界か？
- 11/19(月) 第05課 貨幣はどうして生まれたか？
- 11/26(月) 第06課 貨幣はどんな役割を果たすか？
- 12/03(月) 第07課 資本とはなにか？ 資本を生み出す鍵はなにか？
- 12/10(月) 第08課 人間が労働するとはどういうことか？
- 12/17(月) 第09課 資本のもうけはどうやって生まれるか？
- 12/24(月) 第10課 商業や金融分野の資本



講師は、流通科学大学教授・上瀧真生先生